

忘れ物をなくす取り組み ～ヒヤリハット報告より～

医療法人 あいち診療会

あいち診療所野並 デイケア

介護福祉士 宮野祐太郎 石原弘子

デイケアの概要

理念

受け手になった時に安心できる

医療システムの構築

1日平均利用者人数

16名～18名（定員 20名）

スタッフ人数

4人/1日

（担当区分：入浴・脱衣・脱衣兼ホール・ホール）

診療所の特長

訪問診察

訪問看護



デイケア

訪問リハビリ

はじめに

月1回 医療安全管理委員会を開催

忘れ物に対する意識の低さ

忘れても誰かが届けてくれるという

気持ちの甘さ

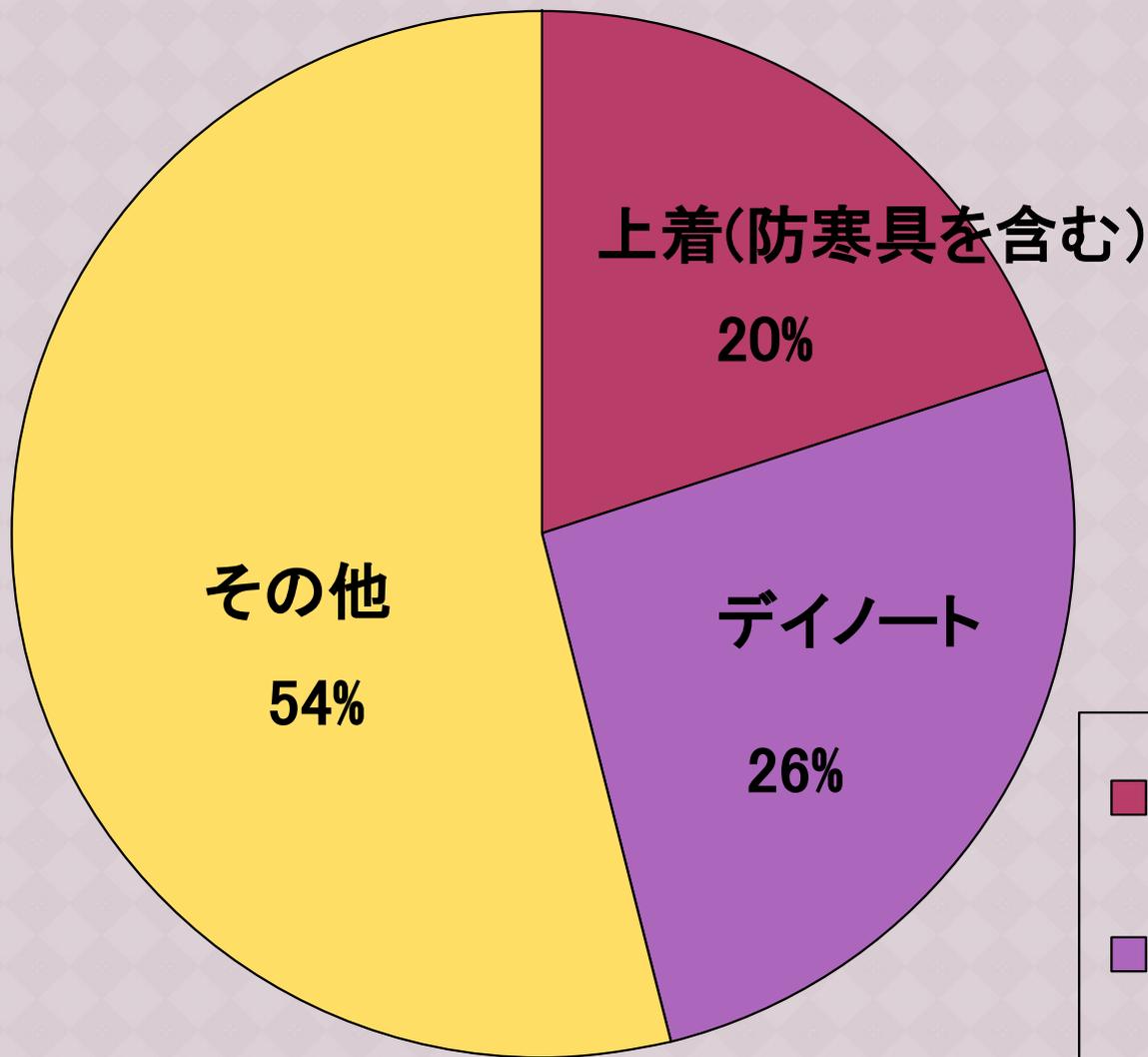


忘れ物が頻回になった⇒問題視



どんな小さな事もヒヤリハットとしてあげよう

忘れ物内訳



■ 上着(防寒具も含む)

■ デイノート

■ その他

上着

◎対策前

- ・目の届かない所に置いてあった
- ・忘れたら誰かが後で届ける

◎対策

- ・スタッフ全員の目に入る場所に上着掛けを置く → 忘れることが無くなった

ディノート

◎対策前

- ・ スタッフが一人でかばんの中に入れ、確認を行っていなかった
- ・ 忘れ、入れ間違いがあっても送迎スタッフが対応し届けていた

◎対策

- ・ 2人の目で行う ダブルチェックにした
- ・ ホール担当者が主となり確認業務を行う
→ 入れ間違い、入れ忘れが無くなった

考察

ヒヤリハットとして書類に残すことで、
スタッフ全員に伝わるようになった



スタッフ間で問題化して共通認識できた

対策を実施⇒成果がでる⇒自信



取り組みが確かなものになった

今後の課題

- ◆注意や苦情を受けた直後は気をつけるが、時間がたつにつれ、慣れが生じてしまう
⇒定期的に対策の見直しを行うことは必須
- ◆新人スタッフが入ってからデイノートの忘れ物、入れ間違いが目立った
⇒新人教育のシステムに問題あり

まとめ

- ◎問い合わせも苦情ととらえ、1つの問題にスタッフ全員で対策を考え取り組む
⇒自ずと質があがっていく
- ◎各自が責任と役割を理解できるようになった